

千葉市長 熊谷俊人様

また、現在試行実施中である入札参加資格要件における「地域要件の細分化」及び「専門業者育成のための入札制度」については、一定の試行期間を経過したと考えられることから、検証結果を踏まえ、方向性を検討されたい。

令和元年度千葉市入札適正化・苦情検討委員会の審議について

令和2年2月12日

千葉市入札適正化・苦情検討委員会は、令和元年度において定例会議を3回開催し、千葉市の発注した工事について、入札及び契約に係る事務における公平性の確保並びに客観性及び透明性の向上を図るための審議を行ったので、下記のとおり結果を報告する。

千葉市入札適正化・苦情検討委員会

記

委員長 渡部 淳嗣

1 審議対象

委員 大川 優子

千葉市が発注した工事に関し、入札・契約手続の運用状況及び入札・契約制度の改善状況等の報告を受け、一般競争入札の入札参加資格設定理由、指名競争入札の指名理由及び随意契約の相手方の選定理由等について審議した。

委員 大久保 佳織

2 審議経過及び審議結果

委員 坂根 良平

令和元年度中に本委員会を次のとおり開催し、千葉市から入札及び契約手続の運用状況等や抽出案件の説明を受け、慎重に審議を行った結果、入札及び契約に係る事務は適正に処理されていることが認められた。

委員 望月 悦子

令和元年 8月21日 第1回委員会 審議案件 8件

令和元年 11月20日 第2回委員会 審議案件 8件

令和2年 2月12日 第3回委員会 審議案件 6件

3 意見

本委員会は、令和元年度発注案件の中から各委員が抽出した案件22件について審議を行い、入札及び契約事務が適正に処理されていることを承認した。

本委員会の審議内容を踏まえ、千葉市が入札及び契約制度の改善に積極的に取り組んでいることは評価できる。しかしながら、昨今の入札状況を見ると、不調となる割合は増加の傾向にある。原材料費・人件費の高騰や、技術者の高齢化等による人材不足など、入札不調の要因は様々なものが考えられるが、社会経済情勢の変化に対応するために必要な対策を検討されたい。